

# ひょうたんいけ

桜台小 学校だより  
令和3年5月10日  
第7号



先日地域の方が「きれいでしょ」と言ってお花を届けてくれました。さっそく用務員さんに頼んで、校長室の入り口横に花びんを置いて飾っていただきました。本当にきれいで見ると心が安らぎます。ありがとうございました。

花は人の心理面にもさまざまなよい影響を与えるといわれています。花を飾ることで、「きれい好きになる」「気分が落ち込んでいるときにリフレッシュできる」「ストレスを感じているときにはリラックスできる」といった効果が期待できるそうです。園芸委員の子どもたちが世話をしてくれている花だんのパンジーも、きれいに咲き誇っています。花や木々に囲まれて育つ桜台っ子は、きっと心豊かで心優しい人に育ってくれるものと信じています。

また、園芸ボランティアの方々には、ゴールデンウィーク中にもかかわらず、各学年の菜園をきれいにしてください、畝を作ってくださいました。今後は、子どもたちが菜園にさつまいもなどを植えていきます。子どもたちと教職員で草抜きや水やりをしっかりとやり、きれいな状態を保っていきたいと思います。本当にありがとうございました。

※学校ホームページ「桜台っ子ニュース」では、日々の学校の様子を紹介しています。



## 絵本の読み聞かせが始まりました。

4月30日（金）から図書館ボランティアの方々による絵本の読み聞かせが始まりました。朝の会の時間を利用して、毎回1冊から2冊を読んでもらっています。ある学級では「どの絵本を読んでもほしい？」と聞いてもらって、その中からみんなの聴きたい絵本の読み聞かせをしていただきました。みんな最後まで姿勢が崩れずに、しっかりと話を聴くことができていました。物語の先の話がどうなっていくのか興味しんしんで、笑ったり、つぶやいたりしている子もいました。これからどんどん他の学年でも図書館ボランティアの方々に読み聞かせをしていただきます。



## 「ハチドリのはとしずく」って知っていますか？

森が燃えていました。森の生きものたちは、われ先にと逃げていきました。でもクリキンディという名のハチドリだけは、いったりきたり、くちばしで水のしずくを一滴ずつ運んでは、火の上に落としていきます。動物たちがそれを見て、「そんなことをしていったい何になるんだ」といって笑います。

クリキンディはこう答えました。「私は、私にできることをしているだけ」

（光文社より）

子どもたちの「自分にもできることがある」という芽は、周囲からの励ましを栄養としながら育まれていきます。なかなか時間はかかりますが、そんな心がスクスクと育つように、学校、家庭、地域みんなで子どもたちを暖かく見守り、手を差し伸べていきたいと思っています。（文責 北住 昌文）

